◎科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合 衆国政府との間の協定の有効期間の延長に関する交換公文

米国との科学技術研究開発協力協定の有効期間延長取極

(略称)

昭和 六 十 年 四 月二十六日 効力発生昭和 六 十 年 四 月二十六日 ワシントンで

昭和六十年七月十一日 告示昭和六十年四月二十六日 効力発生

(外務省告示第二○○号)

米国側書簡:	日本側書簡:	目
米国側書簡	日本側書簡	次
九〇七	一九〇五	リジ

長に関する交換公文) 政府とアメリカ合衆国政府との間の協定の有効期間の延(科学技術における研究開発のための協力に関する日本国

(日本側書簡)

訳文

本国政府に代わつて提案する光栄を有します。 九百八十七年四月三十日まで延長されるものとすることを、 言及するとともに、 定の延長に関 めの協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協 日 K .ワシントンで署名された科学技術に 簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百八十年五月 する 両 政 府の代表者の間における最近の討議に 前記の協定は、 同協定第九条に基づき、 おける研究開発のた 千 日

を有します。が、両政府間の合意を構成するものとすることを提案する光栄が、両政府間の合意を構成するものとすることを提案する光栄諾し得るものであるときは、この書簡及びその旨の閣下の返簡本使は、更に、前記の提案がアメリカ合衆国政府にとつて受

千九百八十五年四月二十六日にワシントンでつて敬意を表します。本使は、以上を申し進めるに際し、ことに重ねて閣下に向か

日本国特命全権大使に代わつて 村角

(Japanese Note)

Washington, April 26, 1985

Excellency,

I have the honor to refer to the recent discussions between the representatives of the Governments of Japan and the United States of America concerning the extension of the Agreement between the Governments of Japan and the United States of America on Cooperation in Research and Development in Science and Technology, signed at Washington on 1 May 1980, and to propose on behalf of the Government of Japan that, pursuant to Article IX thereof, the said agreement will be extended until 30 April, 1987.

If the above proposal is acceptable to the United States of America, I have further the honor to suggest that this note and Your Excellency's Note in reply to that effect shall constitute an agreement between the two governments.

I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

For the Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan

(Signed) Yasushi Murazumi

合衆国国務長官 ジョージ・P・シュルツ閣下

His Excellency George P. Shultz The Secretary of State

(米国側書簡

(訳文)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもつて啓上いたします。本長官は、本日付けの閣下の

日 本側書 簡

確認するとともに、閣下の書簡及びこの返簡が、 受諾し得るものであることを、アメリカ合衆国政府に代わつて 本長官は、 更に、 前記の提案がアメリカ合衆国政府にとつて 両政府間の合

かつて敬意を表します。 本長官は、以上を申し進めるに際し、 千九百八十五年四月二十六日にワシントンで ここに重ねて閣下に

意を構成するものとすることに同意する光栄を有します。

向

国務長官に代わつて ジェームス。L。マローン

日本国特命全権大使 松永信雄閣下

(U.S. Note)

Washington, April 26, 1985

Excellency,

which reads as follows: of Your Excellency's Note of today's date, I have the honor to acknowledge the receipt

(Japanese Note)

the two Governments. reply shall constitute an agreement between that Your Excellency's Note and this Note in to the United States of America and to agree of America that the above proposal is acceptable behalf of the Government of the United States I have further the honor to confirm on

consideration. I avail myself of this opportunity to renew to Your Excellency the assurance of my highest

For the Secretary of State

(Signed) James L. Malone

Plenipotentiary of Japan Ambassador Extraordinary Nobuo Matsunaga His Excellency and

(参考)

この取極は、昭和五十五年五月一日付けの米国との科学技術研究開発協力協定(昭和五十五年二

を確認したものである。

国間条約集参照)の有効期間を昭和六十二年四月三十日まで延長することについての両政府の了解